

第11回見学会（皇居の参観） 平成25年11月5日

絶好の行楽日和に恵まれ、急用と病気のお二人を除く三十二名が定刻に皇居桔梗門前に集合しました。当日は叙勲に関する行事があり参観人数を普段の半分に制限していたそうですが、我々を含めて二百四十名の参観者がいました。一時十分ころから入門を開始し、窓明館（休所）でしばらく休息。一時三十分からビデオにより皇居、および皇居東御苑の説明を聞きました。

二時からいよいよ皇居内参観の開始、決められたコースにしたがって元枢密院庁舎（現在の国会議事堂のモデルとのこと）、富士見櫓、蓮池濠、宮内庁庁舎、宮殿東庭、宮殿と進みましたが敷地が広いので長大な宮殿になんの違和感も感じませんでした。正門鉄橋（江戸時代は木造で二重構造の橋だったので二重橋と呼ばれたそうです）から皇居正門石橋（眼鏡橋）、伏見櫓を見て、折り返して山下通りを通過して窓明館へ戻りましたが約二、二キロの行程があり参加者は歩き疲れたようでした。快晴だったので、西日の射す櫓や、ほんの少し色付いた紅葉など綺麗な眺めでした。

桔梗門を出て当初の予定が変更になった皇居外苑の散策に移りましたが、皆さんお疲れと、外苑なら一人でも来られると言う思いからか、解散の声もあり、集合写真を外苑からの二重橋、伏見櫓を背景にして撮り解散しました。二重橋前では大勢の修学旅行生が記念撮影をしており、我々もしばし自分たちの若かりし頃の思い出に浸りました。有志の方々は、その後井伊直弼が暗殺された桜田門、忠臣楠正成の銅像を見て帰途につきましたが、楽しく疲れた一日だったと思います。

